

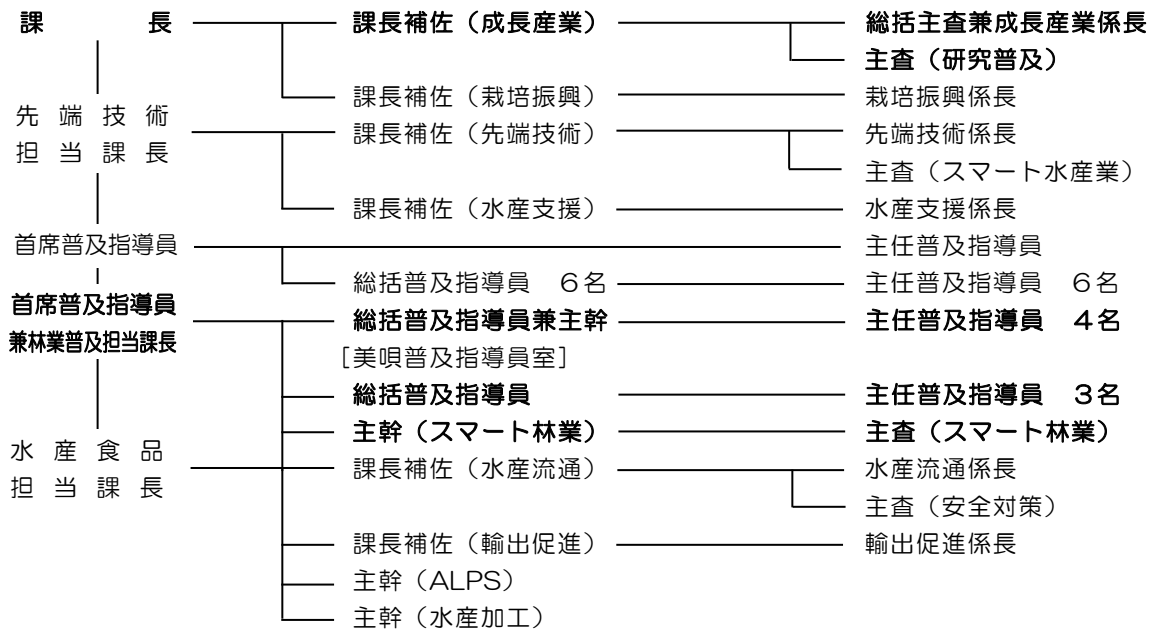
成長産業課

担当する事務（林務関係）

- 1 水産業及び林業の成長産業化に関すること
- 2 林業の普及指導に関すること

組織図 ※太字は林務関係

住 所： 札幌市中央区北3条西6丁目 本庁舎11階
美唄市光珠内町東山（美唄普及指導員室）



施策

※備考欄：予算事業である施策は「予算」、その他の取組である施策は「他」

頁数	施策名	担当(係)	備考
128	1 林業普及指導事業	林業普及指導担当	他
129	2 林業普及指導事業活動計画（森林室別）	//	//
130	3 市町村職員技術力向上支援事業	//	予算
130	4 森林施業プランナー育成対策事業費	//	//
131	5 森と人を育てるコンクール	林業普及指導担当 森林海洋環境課木育推進係	他
132	6 試験研究機関と連携した普及指導活動の推進	美唄普及指導員室	//
133	7 スマート林業の推進	スマート林業	予算
134	8 スマート林業実装推進事業費	//	//
135	9 スマート林業の普及	スマート林業、林業普及指導担当	他
136	10 (一覧表) 林業後継者育成事業費	林業普及指導担当	予算
136	11 (一覧表) 林業普及活動高度化事業費	//	//
136	12 (一覧表) 林業普及指導費	//	//

林業普及指導事業

1 目的・概要等

北海道林業普及指導実施方針書及び各森林室が作成する林業普及指導事業活動計画に基づき、研究機関と連携し、森林所有者や市町村、森林組合等に対して森林施業や木材利用に関する技術・知識の普及指導等に取り組む。
また、市町村や森林組合等から要望・改善点等の外部評価を受け、次年度以降の取組に反映する。

2 実施方針書に基づく普及指導事業の展開

(1) 森林の整備及び管理の推進

森林資源の循環利用を着実に進めるためには、高い生産性や収益性を確保し持続的に森林経営を行っていくことが重要であることから、面的なまとまりを確保（集約化）し効率的な森林施業を実施するとともに、手入れの行き届いていない森林については、森林経営管理制度等を活用した整備が促進されるよう指導・支援を行う。



(2) 人材の育成・後継者の確保

持続的な森林経営を確立するため、自主的に森林整備に取り組む所有者（意欲ある林家及びその後継者）や、森林施業を提案できる人材（森林施業プランナー）等の育成に向け、現地検討会や研修・巡回指導を実施する。



(3) 森林づくりに関する技術・知識の普及指導

適切な森林の整備・管理を進めるためには、森林所有者等が森林施業技術や知識を正しく理解し実践していくことが重要であることから、地域の特性に応じた森林整備や ICT 等を活用したスマート林業による生産性の向上など、試験研究機関と連携しながら、新たな研究成果や技術を幅広く普及する。



3 外部評価

林業普及指導事業を効率的・効果的に実施し着実に成果をあげるため、地域の林業関係者である市町村、森林組合等林業事業体、指導林家、林業グループ、森林所有者等から要望・改善点等の評価を受け、今後の取組に反映する。



担当課・係	成長産業課林業普及指導担当
-------	---------------

林業普及指導事業活動計画（森林室別）

1 目的・概要等

北海道林業普及指導実施方針書において定められている目標指標の達成に向け、各森林室が作成した活動計画に基づき、林業普及指導員が森林所有者等に巡回指導等を行い、林業技術の定着、林業経営の改善、森林の整備等を促進する。

2 活動計画（重点課題）の取組内容と目標

森林室名	令和6年度林業普及指導事業活動計画（■課題名・到達目標等）
空知	<ul style="list-style-type: none"> ■市町、森林組合等の地域関係者と連携した計画的な森林整備の推進 ・森林経営計画作成指導及び新規認定面積の確保（森林経営計画加入：15名・65ha/年）
石狩	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村職員のスキルアップ及び森林組合の体力アップ ・森林計画制度、森林経営管理制度に係る市町村支援等（新団地の設定による森林整備の推進：50ha/年）
後志	<ul style="list-style-type: none"> ■意向調査を実施する市町村の支援と対象者への施業推進 ・市町村、森林組合等と連携した意向調査回答者への戸別訪問（森林経営計画加入：10名・50ha/年）
胆振	<ul style="list-style-type: none"> ■被災森林の実施計画に基づいた事業実施への支援 ・町及び森林組合と連携した施業提案による森林整備（特殊地拵：66ha、植栽：66ha） ■意向調査対象者を「意欲ある林家」へステップアップ ・新たな意欲ある森林所有者への誘導及び森林整備推進（森林経営計画加入：15ha/年）
日高	<ul style="list-style-type: none"> ■森林経営管理制度を通じた森林整備の推進 ・意向調査回答者への現地調査及び戸別訪問による施業推進（森林経営計画加入：12名・50ha/年）
渡島 東部	<ul style="list-style-type: none"> ■非FM林の解消に向けた森林施業の推進及び市町村・森林組合への技術支援 ・市町等と連携した意向調査回答結果に基づく森林施業の推進（森林経営計画加入：9名・30ha/年）
渡島 西部	<ul style="list-style-type: none"> ■森林経営管理制度に基づく意向調査回答者への森林整備の推進 ・市町村、森林組合等と連携した意向調査回答者への戸別訪問（森林整備の推進：9名・7ha/年）
檜山	<ul style="list-style-type: none"> ■森林経営管理制度に基づく意向調査等による森林経営計画への加入推進及び森林整備の推進 ・市町村、森林組合と連携した戸別訪問による事業推進（森林経営計画推進面積：10名・40ha/年）
上川南 部	<ul style="list-style-type: none"> ■非FM林の解消に向けた市町村の支援と森林所有者への施業推進 ・市町村、森林組合と連携した森林所有者への施業推進（非FM林の解消：313ha/年）
上川北 部	<ul style="list-style-type: none"> ■FM率向上のための市町村の支援と非FM林の施業推進 ・市町村等と連携した戸別訪問による非FM林の解消（非FM林の解消：35ha/年）
留萌	<ul style="list-style-type: none"> ■FM林率向上のための現況把握・調査による森林資源管理並びに間伐事業推進 ・市町村、森林組合職員と連携した現地調査及び間伐推進（非FM林の解消：76ha/年）
宗谷	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村主体の森林整備に向けた取組支援 ・委託希望森林所有者を経営計画へ誘導し、確実な森林整備を推進（森林経営計画等への加入：20ha/年）
林-ツ 東部	<ul style="list-style-type: none"> ■造林未済地の解消 ・戸別訪問による造林推進や林地流動化による造林未済地の解消 （造林未済地の解消：15ha/年（左記に伴う森林経営計画加入：21ha/年））
林-ツ 西部	<ul style="list-style-type: none"> ■森林経営管理制度運用への支援と意向調査対象者への計画（施業）推進 ・市町村への支援と意向調査回答者への林家訪問（森林経営計画加入：15名・50ha/年）
十勝	<ul style="list-style-type: none"> ■非FM林の解消に向けた市町村の支援と森林所有者への施業推進 ・市町村、森林組合と連携した戸別訪問による事業推進（非FM林の解消：19名・50ha/年）
釧路	<ul style="list-style-type: none"> ■森林吸収量増加に向けた意欲ある森林所有者の育成及び森林整備の推進 ・市町村職員のスキルアップと意向調査等の支援による森林整備（森林整備の推進：15名・50ha/年）
根室	<ul style="list-style-type: none"> ■FM率の向上に向けた市町村への支援 ・非FM林リストによる市町村、森林組合と連携した戸別訪問（森林整備の推進：20ha/年）

担当課・係

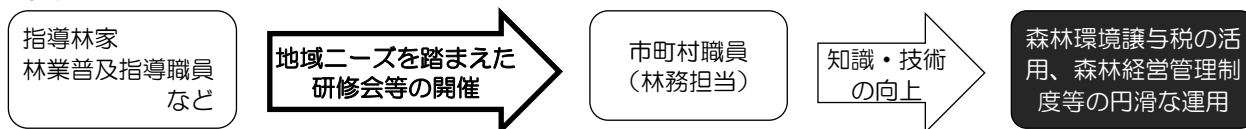
成長産業課林業普及指導担当

市町村職員技術力向上支援事業費

1 目的・概要等

市町村林務担当者を対象に、指導林家等の林業専門家と林業普及指導職員が連携して研修会や現地指導等を実施し、森林経営管理制度、森林環境譲与税の活用等が円滑に進むよう知識・技術の向上を図る。

2 事業内容



<令和6年度 開催計画>

区分	実施時期	実施地域	回数
森林計画制度	5月～11月	空知、後志、宗谷	6回
森林経営管理制度	8月～11月	石狩	1回
ドローン操作・活用等	6月～11月	胆振、渡島、林-ㇿ、根室	9回
森林施業等	5月～10月	日高、上川、留萌、十勝、釧路	9回
森林資源把握	9月～11月	檜山	1回
計			26回



現地研修

区分	道単独	予算額(千円)		国	道	その他
実施主体	北海道	R6年度	2,166	—	2,166	—
実施年度	R元～	R5年度	2,166	—	2,166	—
負担区分	道10/10 ※道費は「森林整備等支援基金繰入金」	担当課・係		成長産業課林業普及指導担当		

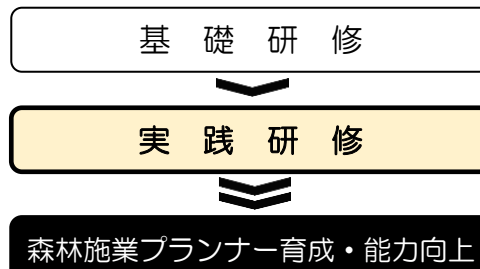
森林施業プランナー育成対策事業費

1 目的・概要等

林業事業者職員を対象に技術・知識の向上を図るための研修を実施し、地域の森林管理の担い手となる森林施業プランナーの育成を図る。

2 事業内容

区分	基礎研修	実践研修
主催	北海道	北海道森林組合連合会
対象	林業事業者職員	林業事業者職員
開催	会場及びオンライン	会場
人数	20名程度/回×2回	20名程度/回
内容	森林経営管理制度 提案型集約化施業 など	施業集約化技術 プランニング技術 など
備考		非公共(交付金)



<森林施業プランナー>
森林組合や民間事業者の職員として森林所有者に対して間伐等の施業提案や集約化を推進する専門家。



基礎研修



実践研修



区分	非公共(交付金)	予算額(千円)		国	道	その他
実施主体	北海道森林組合連合会	R6年度	661	661	—	—
実施年度	R元～	R5年度	661	661	—	—
負担区分	国1/2以内	担当課・係		成長産業課林業普及指導担当		

森と人を育てるコンクール

1 目的・概要等

森林の整備・保全を推進するとともに、森林づくりを道民全体で支える気運を高めるため、地域で適切な森林整備を
実践する森林所有者及び長年にわたり木育活動に取り組む団体等を評価・表彰する。

2 事業内容

区 分	内 容
実行委員会の設置と審査基準等の設定	<ul style="list-style-type: none"> ○緑化関係団体及び北海道による実行委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人 北海道森と緑の会 ・一般社団法人 北海道造林協会 ・北海道森林組合連合会 ・北海道 ○実施要領及び審査要領の制定、審査基準の設定
コンクールの実施	<ul style="list-style-type: none"> ○書類審査 ○現地審査 ○表彰 【部門】①森林所有者 (トドマツ・アカエゾマツ、カラマツ、スギの部) ②木育活動を行う団体等 【賞】①最優秀賞(北海道知事) 1名(団体) ②優秀賞(実行委員会委員長) 若干名 ③優良賞(実行委員会委員長) 若干名

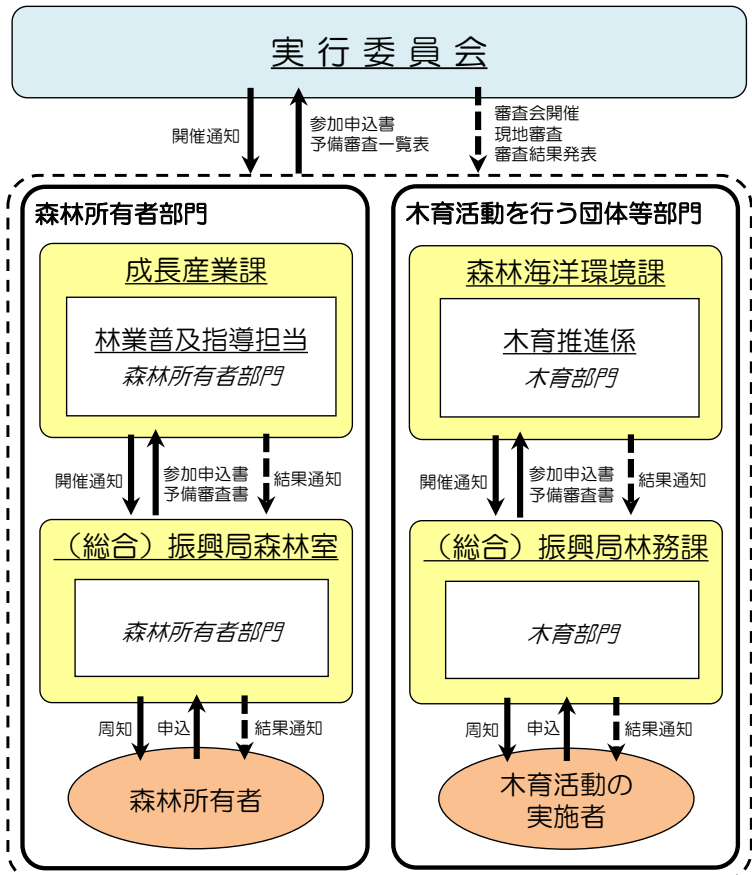
※入賞者の決定後、各(総合)振興局が賞状の伝達贈呈を行い、広く地域住民にPRする。

令和5年度の取組(最優秀賞受賞)

【森林所有者部門】



【木育活動を行う団体等部門】



担当課・係	成長産業課林業普及指導担当 森林海洋環境課木育推進係
-------	-------------------------------

試験研究機関と連携した普及指導活動の推進

1 目的・概要等

試験研究機関と連携した普及指導活動により、森林所有者や林業事業者などからの地域ニーズを踏まえた新たな技術開発や研究成果の普及・定着を進めるとともに、地域の特性に応じた施業技術や道産木材の利用技術の普及を図る。

2 取組内容

(1) 道総研森林研究本部との連携

林業試験場と林産試験場で開発されている研究内容について、研究成果のPRやブラッシュアップを図るなど、連携した取組を実施する。

項目	内容	時期	連携内容
北海道森づくり 研究成果発表会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究員による研究成果を発表 ・ 一般参加者（普及指導員等）による調査、研究内容を発表 	5月	研究員の発表 普及指導員等の発表
研究課題検討会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究の成果と今後の方針について協議 	7月～3月	地域ニーズ等に基づく研究依頼（普及→研究）
林業技術普及会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究成果等の普及・定着に向けた協議 	11月	研究成果等の普及PRの依頼（研究→普及）

(2) 林業試験場との連携

森林室や森林所有者等からの山づくりに関する研究ニーズや研究成果を地域特性に応じて普及するなど、研究員と緊密に連携した普及指導活動を展開する。

項目	内容	時期	連携内容
林業技術現地適応化事業 （研究成果を地域で実証）	新規：クリーンラーチの成長を活かす育林、施業モデルの実証	5月～10月	実証試験地の設定
	継続：道産ヒバ地域適応化モデル林など4件	10月～11月	現地調査の実施
林業普及情報活動 システム化調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ UAVとAIを活用した人工林資源把握手法の実用化に向けた現地調査（15カ所） 	6月～11月	現地調査の実施
新たな研究への支援 （現地調査の実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野ねずみ発生予察調査地の被害調査 	4月～6月	現地調査の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・ カシノナガキクイムシ生息調査 	7月～8月	トラップの設置
	<ul style="list-style-type: none"> ・ カラマツヤツバキクイムシ生息調査 	5月～9月	現地調査の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・ トドマツ人工林内の広葉樹生育状況調査 	6月～10月	現地調査の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリーンラーチ人工林樹高成長量調査 	9月～11月	現地調査地の確保
指導能力向上研修 （道主催）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業普及指導員等に対する研究成果等の知識・技術の習得を目指した研修の開催 	9月～11月	現地調査の実施
指導能力向上研修 （道主催）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業普及指導員等に対する研究成果等の知識・技術の習得を目指した研修の開催 	5月	研究員による講義

(3) 林産試験場との連携

木材利用技術の開発に関する研究ニーズや新たに普及に移すことのできる研究成果について協議を行うなど、研究員と緊密に連携した普及指導活動を展開する。

項目	内容	時期	連携内容
林産・普及指導業務連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ニーズや研究内容を情報共有 	5月～3月	情報共有
新たな調査研究への支援 （情報提供）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ㊦㊧ マツ人工林材の性能評価支援（合板等） 	4月～3月	伐採情報の提供
	<ul style="list-style-type: none"> ・ マツタケ等の発生等に関する調査支援 	8月～11月	発生情報の提供
技術力向上研修 （道主催）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業普及指導員に対する研究成果等の知識・技術の習得を目指した研修の開催 	10月	研究員による講義

担当課・係	成長産業課美唄普及指導員室
-------	---------------

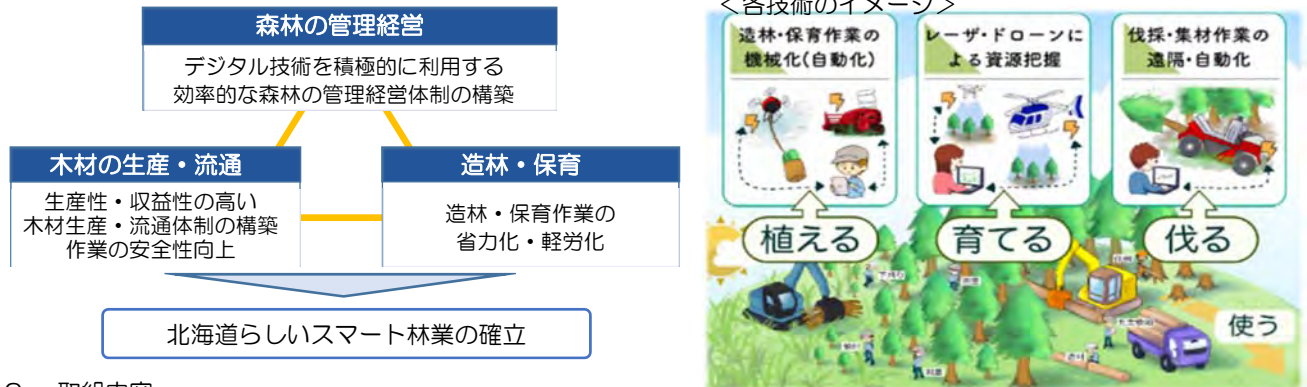
スマート林業の推進

1 目的・概要等

道内の人工林が本格的な利用期を迎える中、ICT等の先進技術の活用により、森林施業や原木の生産・流通などの効率化・省力化や需要に応じた高度な木材生産等を可能にする「スマート林業」を推進するため、産学官金による協議会における新たな技術の実証や道内での実装に向けた人材育成や導入支援、普及等を進める。

2 目標とする将来像（めざす姿）

R3年3月に策定した「北海道スマート林業推進方針」に基づき、森林の管理経営、木材の生産・流通や苗木生産、造林の各分野において、安全で働きやすく、効率的な森林施業と需要に応じた木材の安定供給が展開されるよう、ICT等の新たな技術を積極的に活用しながら、森林資源の把握から伐採、製品加工、流通までの情報をつなぐシステムを構築し、全国に先駆けて、北海道らしいスマート林業を確立することを目指す。



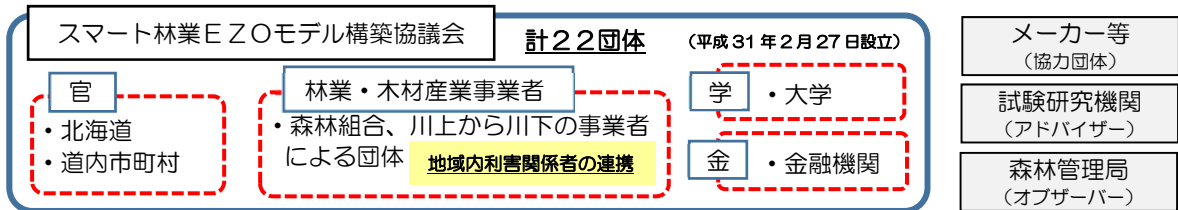
3 取組内容

(1) スマート林業EZOモデル構築協議会による取組

市町村や大学等の参画する「スマート林業EZOモデル構築協議会」において、川上から川下までのICT等の先進的な技術を活用の実証。

ア 構成員

道内市町村、森林組合、林業・木材産業関連団体、大学、金融機関、北海道など



イ 取組内容

造林から保育、森林調査、伐採、流通、加工までの情報をデジタルでつなぐ技術の検証。

- 造林（GNSSを活用した植栽から下刈りまでの一連作業の機械化の実証など）
- 森林情報の高度利用（レーザー計測データの高度利用・UAVによる森林資源の解析など）
- 素材生産（ICTハーベスタの機能活用実証・原木運搬の効率化の実証など）
- 木材流通・加工（川上から川下までのデータ共有によるICT生産管理システムの確立など）

(2) 「スマート林業実装推進事業費」による取組

- スマート林業機器の効果的な使用方法等を学ぶ実践的な研修の実施
- 林業経営体等によるICTを活用したスマート林業機器等の導入を支援
- スマート林業に関するシンポジウムや、全道各地で現地実演会等の実施

(3) その他

- 「森林資源デジタル管理推進対策事業」による、レーザー計測等を活用した森林資源・所有者情報の把握
- 道総研と連携しUAV撮影画像から森林資源量を推定する技術の開発
- UAV活用技術の向上など林業普及指導職員によるスマート林業の地域への普及

担当課・係	林業木材課スマート林業担当（内線 28-553、28-481） 森林計画課計画推進係（内線 28-531） 森林整備課造林推進係（内線 28-621） 道有林課道有林整備係（内線 28-714） 森林活用課美唄普及指導員室（0126-66-6100）
-------	---

スマート林業実装推進事業費

1 目的・概要等

道内人工林が本格的な利用期を迎える中、ICT等の先進的な技術の活用により、森林施業や原木の生産・流通などの効率化・省力化や需要に応じた高度な木材生産等を可能にする「スマート林業」の地域実装を推進するため、スマート林業技術を活用できる人材を育成する実践的な研修、機器等の導入支援、先進技術の普及などを行う。

2 事業内容

区分	内容	実施方法	予算額 (千円)
先進的な技術の実証 (スマート林業EZOモデル構築協議会負担金)  デジタルデータによる木材生産管理の実証	<ul style="list-style-type: none"> 産学官金が連携した協議会による実証 産学官金が参画する「スマート林業EZOモデル構築協議会」における、川上から川下までの先進的な技術やデジタルデータ等を活用した、スマート林業の実証の取組を支援 	負担金	2,000
人材育成(スマート林業機器省力化研修)  ICT機器の活用研修	<ul style="list-style-type: none"> 先進技術を地域で活用できる人材の育成 地域においてスマート林業技術を活用できる林業事業者の職員などを育成するため、機器の効果的な使用方法等を学ぶ実践的な現地研修を実施 ・5箇所/全道 	直営	4,159
導入支援 (北海道スマート林業機器導入促進事業)  下草刈り機械 森林調査用ドローン	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器等の導入を支援 林業の生産性や安全性の向上を図るため、林業経営体等によるICT機器等の導入を支援 ・5,000千円未満の機器導入を支援 ・補助率：1/2以内(2,500千円未満) 	補助	49,156
普及(北海道スマート林業推進事業)  シンポジウム 現地実演会	<ul style="list-style-type: none"> 先進事例のシンポジウム・現地実演会の開催 先進的な取組を進めている研究者等を招聘し、シンポジウムを実施 ・1回/年 作業の効率化や省力化に資する最新技術の現地実演会を実施 ・3箇所/全道 	委託	6,825
推進事務	上記委託事業の実施に必要な事務	直営	3,298

区分	道単独	予算額(千円)		国	道	その他
		R6年度				
実施主体	北海道	R6年度	65,438	—	65,438	—
実施年度	R5~R7	R5年度	71,160	—	71,160	—
負担区分	道10/10 ※道費は「森林整備等支援基金繰入金」	担当課・係	成長産業課スマート林業担当			

スマート林業の普及

1 目的・概要等

道内の人工林が本格的な利用期を迎える中、先進技術の活用により、森林施業や原木の生産・流通などの効率化・省力化や需要に応じた高度な木材生産等を実現するため、市町村や林業事業体等の職員に対し研修会等を開催し、スマート林業の定着を図る。

2 取組内容

(1) 先進技術の普及

効率的な森林の経営や整備を推進するため、UAV（ドローン）や地上レーザ測量機の活用による森林資源の把握やQGISによる地理情報の共有・活用等に関する知識・技術を習得するための研修会を開催するほか、造林作業の効率化・省力化に資するリモコン式下草刈り機といった先進技術の現地実演会等を実施する。

内 容	回 数
○UAVを活用した森林整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・UAVの基礎知識や操作方法の普及 ・写真撮影及びオルソ画像解析による造林事業関連書類の作成方法の普及 ○地上レーザ計測による森林資源の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・林分評価及び施業提案書の作成方法の普及 	20回



UAV 操作実践研修



地上レーザ計測機による森林調査



リモコン式機械の地拵え実演

(2) 北海道職員 UAV トップパイロット（画像解析）の育成

UAV を地域へ普及する人材を育成するため、北海道職員を対象に UAV で撮影した画像の解析技術を習得する研修を実施する。



担当課・係	成長産業課美唄普及指導員室
-------	---------------

事業名	(継) 林業後継者育成事業費				事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○林業講座の実施 意欲ある林業後継者の技術の向上と地域のリーダーの育成を図るための研修の実施 ・造林、林業機械、林業経営等に関する研修会 ・実施地区：3地区 ○林業女性活動の促進 林業女性グループ及びリーダーの資質向上と育成確保 ・経理、税制等の学習会 ・広報誌等を発行し女性グループ活動のPR ・実施地区：1地区 ○林業グループ活動の支援 林業グループ活動を支援し、林業後継者の育成確保及び林業への新規参入を促進 ・林業者組織強化 ・地域リーダー新技術等習得 ・林業者による地域貢献 ・実施地区：4地区
区分	道単独					
予算額(千円)	国	道	その他			
R6年度	650	—	650	—		
R5年度	721	—	721	—		
目的	農山村における近代的な林業経営を推進する林業後継者を確保するため、次代を担う森林所有者に対し、林業に関する高度な技術・知識の向上を図るとともに、林業研究活動や林業女性グループなどの活動を支援し、地域林業の振興に資する。					
実施主体	北海道、北海道林業グループ協議会					
実施年度	S53～					
負担区分	道10/10(林業グループ1/2以内)				担当係	林業普及指導担当

事業名	(継) 林業普及活動高度化事業費				事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○林業普及指導職員に国(林野庁)が実施する研修を受講させ、他の林業普及指導職員に研修効果を波及させるとともに、資質の向上を図る ・林業普及指導職員の指導能力のスキルアップ
区分	道単独					
予算額(千円)	国	道	その他			
R6年度	145	—	145	—		
R5年度	162	—	162	—		
目的	林業普及指導職員のスキルアップを図る。					
実施主体	北海道					
実施年度	S25～					
負担区分	道10/10				担当係	林業普及指導担当

事業名	(継) 普及指導費				事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○試験研究機関との情報交換を通じた地域に適した技術の開発及び技術体系の確立等 ○森林・林業に関する普及指導の対象者が必要とする技術・知識の普及指導 ○林業普及指導の対象者の組織化等
区分	非公共(交付金)					
予算額(千円)	国	道	その他			
R6年度	9,352	2,966	6,386	—		
R5年度	9,352	2,966	6,386	—		
目的	林業技術の定着、林業経営の改善、森林の整備等を促進するため、林業普及指導員が森林所有者等に巡回指導等を実施する。					
実施主体	北海道					
実施年度	S25～					
負担区分	道10/10(一部交付金)				担当係	林業普及指導担当